

# なかよく 令和7年度 9月号 かしこく 元気よく



令和7年9月26日 文責 黒木 幸博

子供たちが輝いた運動会！

大会スローガン

心を一つにして  
最後まで力いっぱい がんばる運動会

今年の運動会、いかがだったでしょうか？「3つのS(S p e e d y 素早く能率よく、S p i r i t s 気迫や士気、Sm i l e 笑顔)の運動会」を目指し、練習から頑張ってきました。本番当日も、3つの「S」が子供たち、先生たちの行動、演技、表情に表れています。保護者、来賓の皆様、ご参観、ありがとうございました。



## 特別支援教育について

今年度4月から、本校には通級指導教室「スマイル教室」がつくられ、通常学級において、学校生活（学習面、生活面等）に悩みや困惑がある子供たちを支援していく体制を整えています。これは、熊本県教育委員会の「障がいのある子供と障がいのない子供が可能な限り同じ場で共に学ぶことを追求する」基本方針（インクルーシブ教育の推進）に基づくものです。

子供たちは、共に学ぶことで「包摂力」が高まります。包摂とは、社会の中であらゆる人々が平等に参加し、自己実現や幸福を追求することができるよう支援することです。これからの中学生は、障がいの有無だけでなく、人種、国籍、性、文化の違いなど多様性を認め合い、協力し合いながら暮らしていく共生社会です。今、そしてこれからの学校は、共生社会の形成を目指し、全ての子供たちが「可能な限り共に学ぶ」ことを追求していくなければなりません。

と同時に、支援が必要な子供たちに必要な支援を行っていくことも大切なことです。特別支援教育は、特別支援学級（よつば学級）や通級指導教室（スマイル教室）だけでなく、通常学級においても行われています。基礎的環境整備や合理的配慮といわれるものです。

つまり、特別支援教育とは、「可能な限り共に学ぶこと」を追求しつつ、支援が必要な子供に必要な支援を行うことができる「最適な学びの場」を提供することです。

これからの中学生は、特別支援教育の充実が必要不可欠です。そのため、本校の職員は、定期的に特別支援教育の研修を行い、指導力、支援力を高めています。

## 学校HPの紹介

学校で行われた行事等を紹介しています。過去の学校よりも掲載しています。



## 10月の「通知表」について

昨年度末にお知らせしたように、通知表は、10月が「中間評価」、3月末が「年間評価」となっています。10月の通知表をみて、前期を振り返り、後期の頑張りにつなげてほしいと思います。

## 校長より

### 【今月の言葉】

無理をしても、無理なものは無理  
木村敬一さん

全盲の水泳選手です。東京パラ、パリパラの2大会連続金メダリストです。東京大会前のリオ大会では「絶対金メダルを取る！」と必死に頑張ったそうですが、期待する結果は出す「4年間の頑張りは何だったんだろう」と悩みました。しかし、悩んだ末に「結果が大事ではなく、水泳は楽しいからやっている」ことに気付かれました。それから練習だけでなく生活の仕方も変えたところ、2大会連続金メダルとなりました。

目標を掲げ、努力し頑張ることも大切ですが、そもそも「それは楽しいのか」というところが大切だと木村さんが言われています。無理をしても、やっていることが楽しくなければ続けられないし結果も出ないということでしょう。

児童の皆さん、2学期、何にチャレンジしますか？まずは、そのことを楽しく続けること、が成功の秘訣ということでしょう。